

2学期が始まりました！

長い夏休みが終わり、2学期が始まりました。

始業式では、生徒たちに対し、2学期は1学期とは違った目標や目的をもって取り組んでほしいという内容の話をしました。具体的には、

1年生：中学校生活にも慣れてきた今、中学生としての自覚をもって諸活動に臨んでほしい。

2年生：今後の朝明中学校の活動は、2年生がリーダーシップをとってほしい。

3年生：今まで取り組んできた進路に関する準備を、これからは本格的に進めてほしい。というように、各学年に伝えました。

そしてもう一つは、2学期に予定されている体育祭や文化祭などについてです。これらの大きな行事において“和・学・鍛”の精神で培ってきた成果を発揮するとともに、家族や地域の方にも存分に披露してほしいという内容を話しました。特に今年は、コミュニティスクールとしてより地域の方々との関わりを深め、一層地域を見直す機会としてほしいという期待を話しました。

始業式はその後、表彰伝達、新しい英語指導員（YEF）ディビッドさんの紹介、校歌斉唱をもって終わりましたが、約700名近くの生徒が、元気に登校してくてくれた様子を見てほっとするとともに、今学期の更なる成長を期待したいと思います。

輝くハンドボール部女子 全国大会で第3位！

本校のホームページにて連日お伝えいたしましたように、8月21日から24日までの4日間、岩手県花巻市におきまして第44回全国中学校ハンドボール大会が開催され、東海地区代表として出場した本校女子ハンドボール部（以下「本校」）は、見事第3位の栄冠に輝きました。その栄光への軌跡を簡単にご紹介いたします。

【2回戦】8月22日（大会1日目）

初戦は2回戦からの出場で、相手は地元岩手県の盛岡市立厨川中学校。初戦で調子が上がらず、しかも相手には約200人の大応援団がつめかけ、そのプレッシャーもあって前半は同点と苦戦しました。しかし後半は、2点差を付けて23対21で振り切ることができました。やはり全国大会、簡単には勝たせてもらえません。

【3回戦】8月23日（大会2日目）

相手は京都の強豪、京田辺市立大住中学校。スロースターターの本校は、試合開始早々から相手の攻勢を受けて前半終了時には5点の大差をつけられるという、初戦同様苦しい戦いとなりました。

しかし、後半に入るとようやく本校も流れをつかみ、相手ディフェンスの甘さについて反撃を開始しました。そして同点に追いつくと瞬(またた)く間に逆転し、一時は3点リード。ところが相手も実力チーム。後半の終盤から相手の猛攻が始まり、終了間際に同点に追いつかれ延長へ突入。

延長は一進一退、追いつ追われつの大接戦。目に涙を浮かべて戦っている選手も。そして、同点で迎えた延長後半終了5秒前、相手反則から本校にペナルティースローが与えられました。

誰もが息をのむ場面で、仲間の思いを込めたシュートが見事にゴール！ その瞬間、試合終了のホイッスル。ベンチも観客席も歓喜の嵐となり、30対29の劇的な勝利で熱戦の幕を閉じました。

※裏面に続きます。

【準決勝】 8月24日（大会3日目）

次は春の全国大会を制した福井県明倫中学校（本大会も優勝しました）。最強の相手です。

試合が始まると防戦一方。前半だけで8点差をつけられ、このままいくと一方的な展開となって終了してしまうようにも思われました。しかし、後半になると本校の反撃が始まります。結果的には31対25（前半19-11，後半12-14）で敗れましたが、後半の戦いぶりは実に見事でした。

【表彰式】

準決勝が終わるとすぐに、3位のチーム（男女各2チーム）の表彰式がありました。たくさんの方々が見守る中、賞状とトロフィーが代表の選手に手渡され、選手一人ひとりには大会役員の方から銅メダルが授与されました。その後、各チームから1名、優秀選手の発表がありました。本校からはキャプテンの山本眞子さん（3年）が選ばれ、記念品とともに盛大な拍手をいただきました。



本校前校長 山路 秀勝 先生を偲ぶ

8月18日、本校の前校長で、大池中学校長の山路秀勝先生が急逝されました。

当日、山路先生は早朝から学校で草刈り作業をしていたらしく、倒れているところを発見されました。すぐさま病院に救急車で搬送されましたが、すでに息を引きとられていたとのことです。

山路先生の悲報はあまりに唐突でした。私は悲しみというよりも人の運命の理不尽さに、むしろぼう然とした思いを強く持ちました。今思い出すのは、山路先生と最後にお話をした時のことです。

中体連三泗予選の真っ最中である7月21日、午前からいくつかの会場で本校のチームや選手を応援し、午後はソフトボール部の応援のため山手中学校に向かいました。学校から少し離れたところでようやく駐車して学校に向かって歩いていると、応援を終えて帰られる途中の山路先生が学校の方から歩いて来られました。そして私とわかると、「朝明中のソフトボール部、勝っているよ」と声をかけてくださいました。私は「ありがとうございます」と礼を述べ、そのまま別れました。それが最後の会話となりました。

思い返せば、山路先生はたいへんきめ細かな心遣いをされる方でした。大池中学校に異動後も、「あの生徒はどうしている？ 元気にやっていますか？」とか、「〇〇先生は腰痛で苦しんでいたけど、もう大丈夫ですか？」などと、校長会議などで会うたびに、朝明中学校の生徒や先生方のことを心配してくださり、その様子を聞かれたものです。

また山路先生は、本校には3年間勤務の間に、校長として様々な教育活動を行われました。私が引き継いでいる活動の一つに、3年生との校長室での会食があります。大規模校の本校にあって、一人ひとりの生徒と関わるための工夫として実践されたわけですが、ここにも先生の心やさしい人柄を垣間見ることができます。

私たちは今、山路先生が本校のためご尽力いただいた様々なことに、深く感謝したいと思います。そして、先生のご冥福を心からお祈りいたします。

※「和学鍛」はホームページにも掲載いたします。